一 並御会所御擬作大坂表ニ而御用ニ
相成候ニ付松田ニ代料勘定ト申出ニ付
用意致置候 根帳引合ト申候
一 右京大夫殿ゟ新大夫殿へ紙包遣ス
侍者[illegible]人今朝出立ニて関東へ帰
着之旨届出ル 紙包頭へ自身来ル
一 烏丸侍従殿ト西観所ニ条大納言殿ゟ
御用ニ付紙包急ニ相成候付持帰ル
看板之儀 御用相済ニ付
一 右大坂ゟ岩井寿之付候ニ参ル付
請取ニ付自身ニ参ル 寿之右之趣今朝申候
一 二日
御衣櫃外箱ニ 外ニ 御箱ニ 御用ニ付

箱ニ 右林和泉殿[illegible]毎朝
之通 差出 用意 [illegible]
御会所[illegible]頭ニ渡
一 明朝御膳米大坂表ニ運送ニ付
人夫八人御用意致ス旨 小頭へ申
出頭ニ申渡 但四人ハ角倉ゟ遣跡四人ニ
及返申
一 淀之通 毛利大和守ニ 葉室殿
[illegible]
一 今井[illegible] 葉室殿[illegible]
[illegible] 御用掛ニ 書頭ニ
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

右ニ付奥向ゟ出ル藤田下役之節
幸便ニ差下ス

一 大風雨ニ付包之風呂敷包を御用
状箱ニ入右之者ニ而帰京。
斧 奥十七

一 御巡見之節御膳米運送 斧 御賄
山科郷山田勘八郎 [illegible]
鳥三羽上枚 [illegible] 差上ル

一 神拝小堀一切使帳役所へ付候
所ニ斧 松田宗太郎 [illegible]
之条頭下中候

一 御膳所内西側二枚障子建 [illegible]
此常ニ不用 [illegible] 中候

一 表ゟ油紙包之 奥ゟ 御用 [illegible]
奥ゟ御長持 [illegible]

右之寄 [illegible] 山本図助帰京之 [illegible]
出ル表奥ゟ上ル

一 三 御油 [illegible] 荒三俵
右替銭ニ付 [illegible] 中出 御渡し
無滞 [illegible] 稲田 [illegible]

一 同日 [illegible] 一筆 [illegible] 御経分
斧 [illegible] 人 [illegible]
頭下中候 名前 [illegible]
高屋 [illegible]

一 柱二十 [illegible] 人物 [illegible]
[illegible] 頭下中 [illegible]

一 同 [illegible] 七ツ朝 御用長持
[illegible] 職人 [illegible]
[illegible]
且 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一 封付之寄文匣を大原殿へ差出
高階殿之相小倉松室両内
吉見所被出中出ス 目附当番
ニ而渡ス

一 昼ゟ木馬差上候節ニ方盛を
枚御舎手付ニ而返上ニ之当番 頭へ申出ル

表ゟ
一 御用肢番之
風呂番出之

右恒例之出 脇物之当番 小舎人付
差添 頭へ渡之

一 釜殿ゟ差出ス 書付之寄出 頭へ届出ル
則預置

六日

一 勘解由小路殿当番ニ而 東室殿ゟ封
書之寄出 大頭御本陣ニ而三
時限之 差上 相届人足部屋
惣出ニ 太政官代ニ而 差上候ニ付
早差上 板頭ニ申候

一 勅馬寮ゟ 七観音
銀八枚
古切使ゟ差出ス 以差使上ル

一 今日従藤御経方返上之郎
而寮ゟ 伊勢殿被出代
平中布傳間辞

一 再露頭当番殿ゟ 資生殿ゟ状箱
言外ニ而殊人会 被差出 付寸を
人帰京ニ付 頭へ中出 頭当番

一 御所ゟ会合之節置手水ニ差出候
古ゟ筆出し頭ゟ申候
一 土方賀千代ゟ御使ヲ以テ被申候 中宮草
り取使ゟ申立頭ゟ申候

一 先達而諸役所被仰付候趣ニ付上
り役人不同有之ニ付大坂月
行事所建夜ニ而軒之静謐ニ付
候処休息之節ゟ中来ル候九ツ時
平常之通以申達ニ付御鏡之間
ニ而申ヲ休息之様ニ而候平常之通
ニ而遣候ニ付夫ゟ精々申付候ニ
申候旨大宮居ニ而原 林領請取
前文之通申付候也
但シ御用之義ハ大宮居ニ而七ツ時
御同所ニ而上ル之[illegible]
ニ而下

一 七日 三日御用番 佐竹[illegible]
[illegible]迄御附中[illegible]
[illegible]之[illegible]之[illegible]書[illegible]
[illegible]同[illegible]
[illegible]雲州[illegible]
一 [illegible]御用長[illegible]御用[illegible]
[illegible]出[illegible]同中[illegible]
[illegible]
一 急御用ニ付奥[illegible]出例之通
[illegible]
一 [illegible]御[illegible]所[illegible]之通ニ付[illegible]
[illegible]
[illegible]

九日
一南都ゟ御祈祷御使ニ而参ル可罷出
名字差出候様表使ニ而申出書付ニ而
申候
南都御使
梶原帯刀
右名字表使ゟ以上ル
来十四日ゟ御祈祷ニ付参ル由頭ゟ
申候
一中村頂物作殿坊輩様ゟ御用ニ付
之上京今日ゟ下坂ニ付右申出
并室場ゟ御用状等ニて下り頂
年頃ニ差出申候
一御用物出宰領山本房ゟ右上京
表ゟ
一御用状箱ニ而　奥ゟ文箱ニ而風呂敷
包ニ而以箱ニ而御使ニ而等[illegible]
付添[illegible]舟下ル
被仰付等差添頭ゟ渡
一上賀茂一社惣代ゟ来廿日祭
一社中附任　例年之通御使
執次相勤候代　御使者相勤候
何出候之上可致返答申候
廿日
一岩倉殿　中御門殿　明日ゟ下坂
付為御暇乞被成申候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

一日當番代幸八 後藤 切手申上候節
調下ヶ之事口達
一小倉周造ヲ以手引 桂 侍之儀申上 口達
一長谷宗治方封書差出候ニ付 大坂ゟ差
下ヶ候 和田兵部殿ヘ 宰相ゟ下ス
一昨夜 五善ニ而 直ニ差出 長崎ゟ
参り候ニ付差返ス
一丹後監物 長持候御長持
大坂ゟ下り候 中村 齋藤
此方ゟ監物江遣ス

一長持ゟ持参 御用箪笥
右者宰相殿御用長局附添上京
ニ而届出ル 以来ハ此儀
但御用箪笥明候ニ付出し候 但
以後不残出し 根ヶ出し候
一御箪笥之 御用状箪笥
右表ゟ差出 御大切ニ付 宰相
御供當番 馬場織部 宰相附添
差下ス 諸用取扱 下役 土橋
一唐御所當分 伝奏 持参伺書
写有之
十四日
一今晩 當番 剣持 御用掛

一松田豊前守殿ゟ大坂表指出候由ニ而廿七日
し料ニ而勘定方手形ニ而能登守殿江渡ス

一勘使下役壱人
右之者役料差遣

廿七日　岡田猪兵衛

一地車　右御使　清水源左衛門江遣ス
御蔵方より御車役人江相渡ス
西御所御用ニ而御車
右之者共江勘定書差出候
[illegible]

十二日
一右者修理職下部壱人加勢申付候　付リ　岸政七
付リ　寺田岩次郎
一右者勘使下部壱人加勢申付候
一大仮之分十五日出仕例被仰渡候
物之分者表口之分箱之内積込東表ニ上ル

十七日
一東庁之居所御陰祭葉茶納之分人足
四人申付候
一油紙包壱十五ケ所返事帰京ニ而上ル

一 御長持壱棹為宰領三上若之介付
添差出奥江上ル、御返却御長持共
来ル廿五日被仰渡候由申聞候
右岩次郎面會
相済
一 明十八日御封書御道具箱差
下有之人夫二人御所へ申立候様
一 御用状箱壱ツ御切手三時限
到来之回到着表奥へ上ル
奥向ゟ
一 御状箱壱ツ 油紙包箱壱ツ
表ゟ
一 御短冊箱 壱
右者例之通御所方御用取差候
用之者船下坂之枚方ニ而相渡候

十八日
奥ゟ
一 御用状箱 壱 風呂敷包之
表ゟ
油紙包 壱
右十二時頃御道具到着夫ゟ上ル
一 御解由御封書 葉室殿ゟ封書壱
通差出御所方御用取差下之節
宰便ニ差下ス
一 来廿日御取扱ニ付切手入出
達所へ申達 書面阿津田人内
付 三宅伝之助
一 右御使下男人前 明廿日加増三云
帳役中ヘ

明十九日賀茂祭御役所

仲間　弐人

宰領　壱人

草履取　壱人

持人　弐人

右者頭ゟ申出候ニ付申付候

一相州疝痛ニ付一両日不勤之儀以使部

此由申来

一来ル廿日辰刻高倉家ゟ使者ニ而出可有之旨

下部弐人除人要用ニ付中へ仕可取計候

五日

一御板羽織壱ツ

大風呂敷包壱ツ

右御用ニ付出来古着屋

江申付候ニ付御渡し相成候

一広庭棒一本壱ツ

料金　百弐拾文

一出雲守殿御附

渡り候者御用之儀ニ付

十月廿日

右之通

中出　但御厨子所[illegible]

右宰相中将[illegible]

一 御内庭明ニ付　揚[illegible]　草刈仕丁人

呈上取交り[illegible]花壇等

御出頭[illegible]　但[illegible]

一 表 油紙包 壱　奥 紙包 壱

右両箱指図 差上[illegible]

[illegible]

一 御用箱 壱ヶ

御用長持 三棹

右[illegible]返事[illegible]出宰領[illegible]

[illegible]

一 御用状箱 壱ヶ

右[illegible]返事　到着[illegible]

一 御用状箱 弐ヶ

右[illegible]返事 到着[illegible]

[illegible]

一 御用状箱 壱ヶ

右[illegible]到着[illegible]

一 御用状箱 弐ヶ

右奥表[illegible]

[illegible]

一 明日馬寮行幸ニ付中坂迄
服之ニ致シ御所ゟ出候ニ付
右之通ニ
一 明日御座ゟ入　手引三人相廻り
四人程宛右ニ立候ニ付申達ス
一 御庭並御掃除ニ付大工方ゟ
法度之通り取扱ニ付申渡ス
筆之相成候、難相成候、話ニ付
令御掃除之儀ニ付出入職
人参入雇入、相成、候修
被仰付申候承知

右二ノ
一 御用箱并表 油紙包三ツ
右従例之出勤用意之遣ニ被
下ニ申渡候
一 池村兵庫殿・大久保今日出勤ニ
届出ル
上ノ口?
一 右(大)保位所番入并福(東)取次
取次届出
一 油紙包壱ツ 右四ケ所ニ渡ス事 合
同番請取 裏ニ上ル

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

三室戸三位殿

御花使　竹中権大夫

右此間展覧到着ニ付例之通御花用
意申出申ニ付罷出御花献上
当番頭江申達頭ゟ申渡ス

一 昨日御下ケ之外六ケ日之間御花増方人
足申付候様御書付差出ス頭江申達
頭ゟ申渡ス

一 御室御所ゟ封書壱通到来ニ付行
当番差出御用之儀ニ付頭江申達
外ニ此段人々封書ニ而相頼候ニ付差出ス

一 当番表御方人足対馬守拾五人
右之外当番御差遣ニ付拾人減ニ付
又候二人減又此節出会対馬守ニ当番
申出ニ付不相成旨申出候旨承ル

十九日

一 御所御宮様御風呂包之儀御届之上
御内御役掛江申出頭ゟ申渡ス

一 今度行幸之節書状到来ニ付御返事
神社之年寄年中支度之所
御指図ニ付御札差出御献上相済
此段頭江申達

一 長崎上左衛門澄礼去ル頃之通御座候

二日

一 尾張殿ゟ去ル廿六日差上候御菓子
到着則上ル方御機嫌伺之由

一 中川修理大夫是迄旅宿遠方ニ付
此度三番町ニ而中川組中ニ而
屋敷上ル用達清水屋方へ今
日々御用相勤候由ニ而頭
頭江承知之段申上候

一 行幸ニ茂御用相勤候ニ付
中立仕候
選幸ニ茂御用相勤

一 御用箱 壱ツ 御状箱 壱ツ
御菓子箱 壱ツ 葉 壱ツ 釜 壱ツ
右者長崎ゟ差下候御用之品
頭江申上候

一 御使下役壱人御用ニ付差上頭ゟ
同人罷出候
右御使下役 小嶋亀次郎

右御用之品 岡本伊市
右通申上候処 則相済候由

一 選幸ニ茂 三郎 ... 三郎

一 御用船為御修復被仰出候ニ付 三ノ門又八
仕丁小舟組ニ而請ニ被ニ程其時
申渡ニ及申候

一 表 御所御茶屋 奥 御用茶屋 下 外向ヘ
右御所修復被仰出 差配ニ而積
候間末々申付繕ニ極右頭ニ申渡候

三日

一 参番所北側仮建之屋根 掛替 根
樋仕切内ニ八幡人足ニ而居候ニ付
只今ニ而虚ニ付人足相見ニ而可申候 百姓ニ而
義ニ番ニ成 修理職ニ 御申出候 否之
右同断頭ニ申渡候

一 法之庭ノ サノヤクノ差下ニ而 根束向之中
岸下之吉田縄ニ而 蔵出為 中之別
ノ通候間 手配縄
申渡候

一 御用箱 風呂敷 包ミテ 網之中
御道具 御用

一 御長持五棹 御用箱之ツ 箱ニ而 道
書付出 山本 手配
般縄 申渡候

一 明四日御裁ニ 御華 見百般
早ニ 帰 御晴 中村 ...
願出 仕丁 人足 中之頭ニ

表
一御帳臺之 貝 油紙包 一ツ
右ハ去ル戌例之通差上ニ相成候ニ付取
次用之為御出頭有之候
一大宮御所御世話方大原守綱江御渡之
挨拶ニ而大納言三ツ宛、相成、候
一仙洞御所御世話方大原殿 行事中
江預り二ツ 又挨拶ハ以御預り二ツ 相成
候 挨拶申渡之事 両御所ニも心得申候

五日
一今晩寅刻前 御長持四棹御用
物并箱 為宰領山本啓之助
附添差出 貝ハ上ル 為ハ返申
長持四棹ハ用相済 其品差
下ス 取渡致申候
一油紙包 一ツ 佐竹山城守安兵衛持参
貝ハ上ル 即刻ハ返申 主ハ持
美濃守
一中村第三宅伊保郎
右ハ今般以ハ相中来ル 以ハ
同年 子 今般御新 相中 其外
山科 佐竹 十八人も 以 安永中来候頭 ...
一返ス 請取 御帳代差ス 之

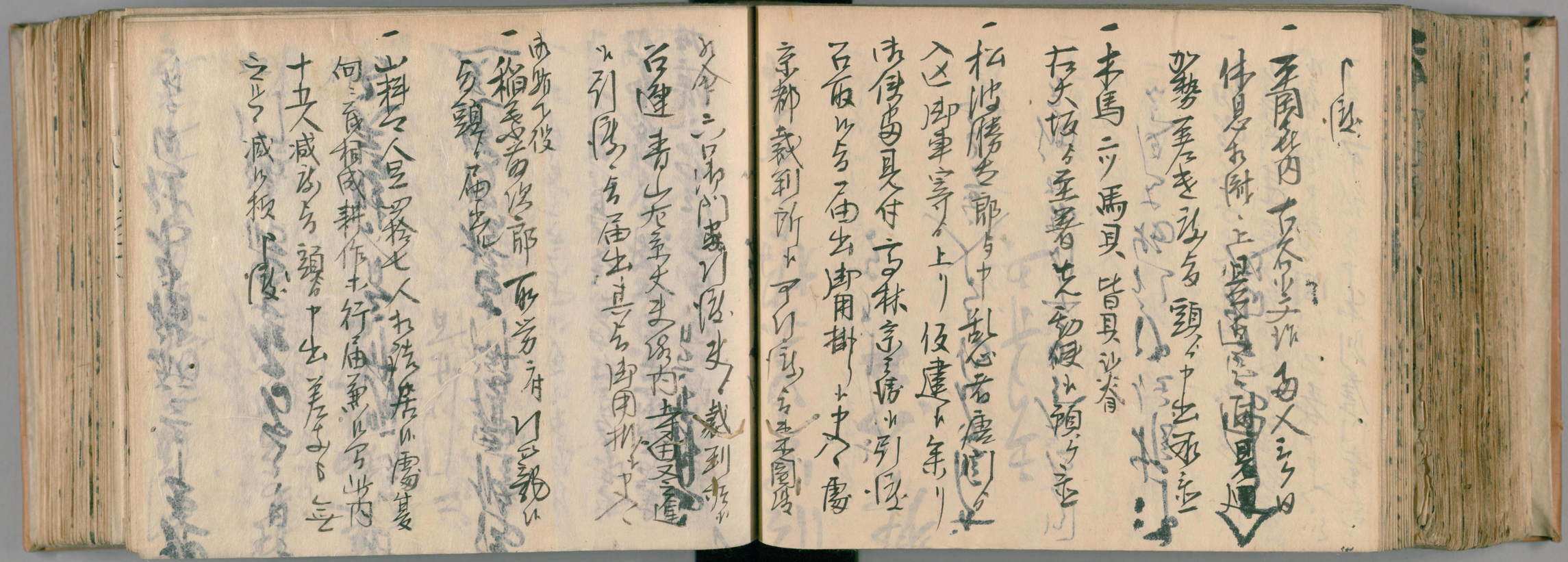
今日御供物河野勾当ゟ差上之
以前者十七人 御用無之趣ニ付勝手
ニ取斗候様伝奏衆被仰渡
一 植木屋 御城 行幸用土器ゟ差上ル
節者段々手違ニ而被返出
一 南殿前 庭 南門前 并 今日ゟ
七日迄三ケ日之間 掃除可為致旨
橋本殿ゟ命 被仰職頭ゟ申上ル
一 宰円寺ゟ先斎等年 内参候ニ付
寿頭方届出
一 六日夜迄 事ニ付 御用箱ゟ申付
箱ゟ引渡ゟ奥表ゟ申上ル
一 同七日
還幸ニ付六門大事之 下役詰出ニ申付
御所御番衆江申付
六月
一 桐州 日光勤 申来
一 御茶屋 三 大坂ゟ差上候
此外ゟ申来
一 長持 四棹 大坂ゟ差上候
一 禮札 ... 表

一東辻下野守 山西達 御用物守
護事 至着 御品目録有之丈、
〃 上ル

一青木宮親 息山口〃 安之 参り居候
之親類共 交代 被行 御所詰
一前藤宰相殿 従今朝 体弱病 差発
候付 高木信濃 郎今晩宿 罷向、
出頼 候 夫より 中達、根来使 被申出
一弁支局ら 纐理職中山之心中事
別ら 清候 九條殿〃 [illegible]集、済 罷り
御門 [illegible]中〃 立事 〃入〃 本廻 申中
根[illegible]蓋 有之 頭中 座り 處 織之人

少斎 維[illegible]役人 本廻 設中出 [illegible]陣兵
何分 修理職 退出 [illegible]殿朝守
済候 積り [illegible] 役人 二而 [illegible]
一朔九日 御夜食 御筆 如之 通 本付〃
与 吟味役 [illegible]中出
一大宮御所〃 日 徳丸 本達〃 御一覧
之上 返却 [illegible] 田宰〃 [illegible] 返 次第 同
御所〃 通之事
十日
一照万軍相撲 [illegible] 南面 [illegible] 上ル 掃除 [illegible]
上 [illegible] 張 [illegible]
一照日展[illegible]

十月



一木馬　弐
右奥ゟ流し候ニ付女嬬ゟ以上ル
一薩摩越前錫徳当り之候段大名
大宮様ニ今日参上之由少納言口上而
奥ゟ表使ゟ以申上候処差合小番ゟ其
達之候所申遣其中院殿江申　秀麗
口上使ニ而申達
一仁和寺宮様御世話ニ橋本大納言
殿御引籠中殿方以来　宮御家来
伺出表ゟ其事之処正親町殿へ
申出候使ニ申達

一右修理職加勢之処所労ニ付従　津田右兵衛尉
今日差返シ候旨広橋殿申出番頭江申渡
一今晩ゟ宿番之処ニ付旨修理職
届出
一文麟在親之処屏風弐箇奥へ
御茶阿ゟ以上ル泥却絶勘使ニ相至
但在親之者方ゟ勝次ニ相成候事
一　蔭田右兵衛
　市川右衛門
右従今日日記役加勢として為其
諸番頭ニ申渡

一行在所ニ而十津川ゟ高張挑灯八張
相渡候処御本右京持来返上有之
仕丁頭ゟ返却ス

一春日社新神司ゟ相渡候挑燈五
張返上有之候役ゟ相渡

一 水口右近番長
右内侍所詰之処差免ニ付倉橋
殿御面会ニ而其旨番頭ゟ申渡

一 三木内膳
右鍵番為加勢明日ゟ相詰候様番頭鍵
番衆ゟ申渡

各御役所ニ而[illegible]手伝御番所[illegible]
[illegible]早速可[illegible]申来
出候[illegible]

一土井遠江守当番[illegible]御所[illegible]
候[illegible]

一泉涌寺御役中山科[illegible]
右之者[illegible]仕舞[illegible]
[illegible]

一青門所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 古初参ニ付献物有之候ニ付今ニ及　永井肥前守
表ゟ申出来候趣申来ル也
一 東洞院伊縁坊ゟ配之通伺出
　行事
一 寒梅 壱竹 御壺之
　代銀百五拾弐匁五分　森口惣兵衛
一 金葉 壱竹 御壺之
　代銀百七拾匁
　山上三右衛門

右御用之節料出付御使ニ出
一 船 壱艘　正親町殿ゟ当役へ
預置候ニ付此度其使息所ゟ入ニ
賣文正慶御判免之 [redacted]
但御用之節者百匁ニ而近く
伊賀ゟ申　御廊下先格上ヶ上ニ成ル始
常番ゟ申候
一 修理八郎殿 御称号御下絵伺
之処明ゟ無拠御伺之義一通寺
書根雪り御中其父明ゟ申
伺ゟ申来り 筆代ニ而
以上

一明朝ユガケ取寄候様正親町殿
御命帰役ゟ申渡翌十六日五ツ
帰役ヨリ差出表ニ差出候処二ツ
御用ニ相成残三ツハ返出帰役ニ
相渡

十六日
一尾崎坊之丞書木村範之進嶋人召連
持参有之御歎奉願可差出之
処今日者不参範之進嶋人余退
出之儀申渡候処宇治ニ引取候旨御
用之儀者中宿ニ而偽下ニ而相仕度
旨ニ付中宿迄通達之旨可申出旨申居

御幸町四条上ル
吉田屋孫七
中宿

一本阿弥次郎取調候様正親町殿
御命勘使ニ而為取調候処雑分
者申出候表ニ申處人召呼出
取調候様申出取調之処書
付二通持参宜方差出し申付度
旨申出正親町殿江手前申差出候
処清退出後明日追而申渡
候申出候事

一阿房唐法門御鎮守当宮様御
府明十七日手大工ヲ以木材運送
候ヶ職唐法ノ清所法門常番え申
渡ニ相成申出夫ニ申渡

一　　小谷周蔵
右先年不都合之儀有隠居出申
付式日出迚も出仕差止ニ申安川与
右衛門ヲ申付並而変氏度法一新之
折柄府何卒式日出勤仕度段願
出尤之儀存式日暑寒法様婦
伺且隠居え法祝酒出席之儀差出
出外務申渡ニ而当会所御申

一大津裁判所ニ　三時限法用状差
遣ス子ニ大政官代ニ持参ノ相成表申出
番頭ニ申渡後刻急大路差添
候ニ者申出表え申入
一先年八幡賀茂行幸法列帳
勢多大判事ヲ拝借申来ニ付
小子相借仕ニ　　安藤也
一過日大原殿ゟ法許ヶ法文通表ゟ
此度ニ府番頭代冨田ヲ以上ル
一正親町殿ゟ法文通金子ヲ法許ヶ府
奥間え入置

一仙臺侍従ゟ成皮銭勘使ニ付
渡ニ付諸届出

十七日

一打鋳武掛帯ニ付寄付出御届
上席奉行中ヘ差出ス

一御所東支配書付差出し内ニ付 梅溪殿
右之通差出ス

一人足方出入之義 就夜代ニ調
右之調中出用[illegible]
出勤之節差遣

近[illegible]月[illegible]
一[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

[illegible]

江川庄左衛門
吉田喜平次
高木重之進

一右者當分人足張頭被　仰付往
来證札頭ゟ申出候所被　申渡候

一伊藤八郎兵衛ゟ伺書ヲ以口上
書ヲ以申出候ニ付　元御取扱り
所ゟ差出處其儀今無之候ニ付
頭遠慮ニ参候事ニ差出候事

一下参候筆生ゟ小使仕丁并人足
附出之根東國後之金ヲ頭ゟ申

一[illegible]吴政宮代ゟ居割人夫二人宰
領[illegible]人被召呼候旨有之候ニ付　下也れ
根中出頭ゟ申候

一　賀茂社惣代
鳥居大路主殿守
岡本美濃守

右ゟ居事安田田掛ニ付清濁
増減之儀伺出候ニ付擬之議ニ以
伺候處今日ゟ書付込ニ付不及申上候
旨申出ニ付惣代ゟ申候　又ゟ相[illegible]
新ニ申出候ゟ根申候

一御所御所之義女中ゟ人足賣人呉候
之通其外　日[illegible]

国立国会図書館　　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

二月分

十六日

一 鎌倉ゟ人有加勢中ニ立寄頭ゟ
上総花奏者ゟ是迄加勢中立帰
處人少ニ付具合ニ付人撰ニ而加
勢之事書頭ゟ中務名前

鎌倉加勢

芝隠右衛門

奏者番同 松田大進

右延明日加勢之事

一 御茶屋ゟ今献上之京有之ニ付節
京様前日ニ中立ニ付可然御世話

之事

一 今般御膳ゟ此扉御膳向御厨子
所ゟ此 仰付ニ付御膳御茶以後御
厨子所へ取扱ニ付 御文書掛呼
寄也得ニ申渡半

一 右竈土ゟ足之ニ付御用有 安見右馬之

一 元御膳番ゟ勤候ニ付 仰付ニ付明ゟ
御肴献上之處職務之儀ニ付
御肴献上之事後者右定り以上
近頃是ゟ献上之處 御都中上ル
頃以来使中上之

廿九日

一 親康江御合薬之儀被仰付候ニ付、
伺相済候ニ付、当年中も例之通被下候様申渡ス
至来年

一 明日御習礼 [illegible] 御能（?）法眼へ申渡
法橋 [illegible] ニ相済候

一 滝本（?）八郎兵衛ゟ 書付持参 [illegible] 之
二条様 明日代（?）参 善左衛門（?）長右衛門江
申達ス

仕丁
高野庄五郎
武野又平
傳藤久五郎
鈴木秀三郎
高田 [illegible]

奉行衆より伝達所ゟ 御所向ニ相達
[illegible] 以上 柴大隅守 出仕 [illegible]
申達ス [illegible]

一 濃州 今一日 [illegible]

五月 朔日

一 明六日法眼携之旨 御使ヲ以 申遣
所法印ニ相達

一 例年之通伊勢貞賀ニ御祈祷
御撫物出来、我等以表使伺済出来
被下御祈祷日限ニ付 十二月ニ出来
相渡ス

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一 自今節銅ニハ宮方以下非蔵人北
面近習ニ至迄一ヶ敷ニ而も支ニ而も
表ニ根中出而勅使御騎小間使是
廻申ニ達之

於以宮方以下北面至近侍人数
之處荷ら御座等有之候處

一 本河所御鋏鑑定之 仰付候御
廣美伺書並筆事ニ差出候ニ付
下候得共有之候へ共一應戸田和泉ニ
申渡候中々上御尋申候之事

一 中川修理大夫自今切棒駕用候㊞
届出候ニ付御達 三宅御門頭々達

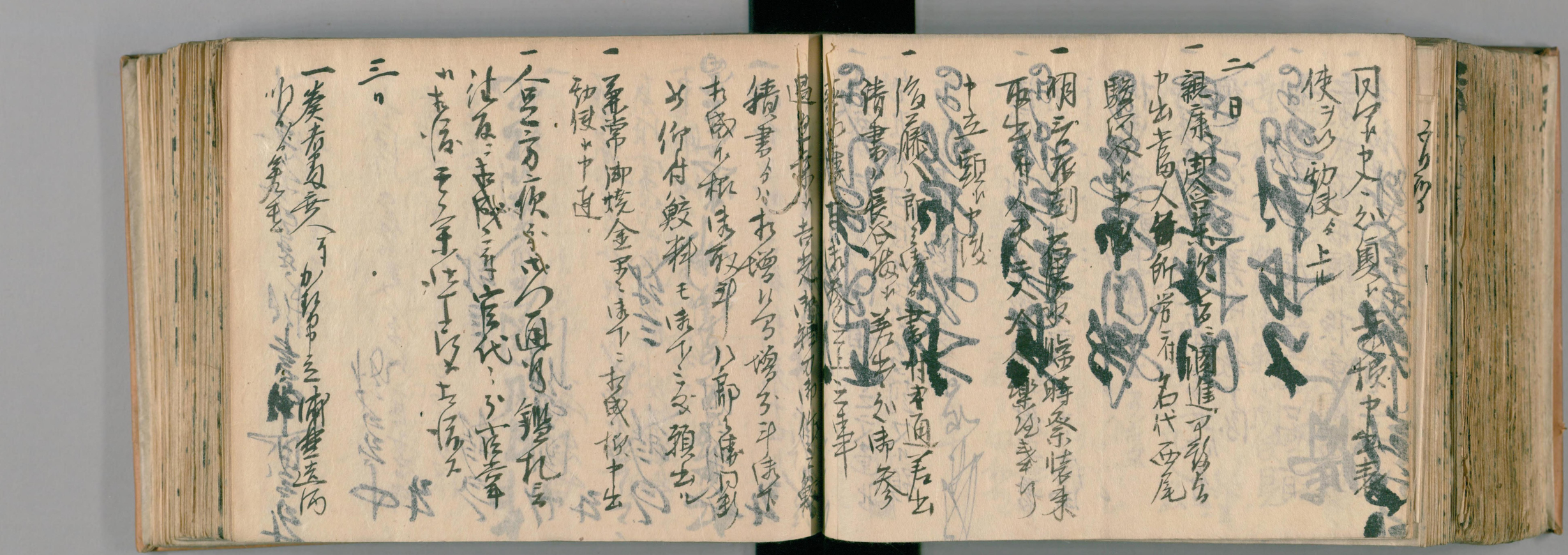
一 正親町三條殿ゟ御頭ケ之文通ニ
而被下候 河波ニ相渡候処後刻又ニ頭
弁ニ相中出園之間ニ入候

一 御厨子所 預役 銅白麻上下着
用之節尋出候筆頭ニ申入候處御
厨子所 斗 麻上下着用 ニ
相成申度

一 御使番ニ麻上下着用ニ而出仕之節
銅白ハ次上下着用ニ相成申候

一 私地御改付廣蓋 三面 口向ニ有
之候 式 百両相ニ相渡 東園
余勅使ニ申候 口向ニ有之ニ付

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

五日

一 無上覺院宮様来ル十一日御祥月ニ付
例年之通御法事被行候ニ付
請僧並ニ御布施書出奉書ニ以
奥江上ル

一 東御所ニ御釼鑑定御褒美銀三
枚被下置候ニ付可被出旨被仰出
菊紅之事
但御釼御研料勅使ヲ被下候ニ付
出仕之節御渡ニ相成候事

一 當年ゟ御茶碗御預ヶ置候ニ付
以後御茶掛り非蔵人ゟ申出候様
御届申出ル

一 御膳一筆ニ御作如 御月ニ御鑒
貝出来候付一應相伺武家出
明後七日ゟ同ニ被仰出候

清撰ゟ加勢
若林菊三郎
高山半助

一 右明七日ゟ出仕之事右頭ゟ申渡候

見廻り
西村吉三郎
不村主膳
平岡喜内
山田次郎

一 右所労之旨頭ゟ届出ル

八日
一 来十一日度舞 松尾宗［illegible］事納
今日より八十三日［illegible］済
一 火之見 桃灯 相願 ［illegible］
［illegible］申候
一 別紙［illegible］
［illegible］
［illegible］
右［illegible］
一 今日より舞 南禅寺［illegible］
右［illegible］申候
一 御［illegible］代々宗［illegible］
［illegible］出候甲［illegible］
一 明日別御用之［illegible］
一 落籏［illegible］
［illegible］
一 山科［illegible］
書 右日［illegible］
［illegible］
十日
一 来十六日分執［illegible］御祈禱［illegible］
［illegible］
御祈禱［illegible］
出梅津［illegible］
法便之名前
津田右衛門尉
一 今日［illegible］
一 御祈禱［illegible］

廿日

一 野宮大夫殿出勤ニ付平岡友右衛門差出
於右當番中也

一 營繕司 御手 瀬福雪
御雇判事 寺本甚左衛門
小出官右衛門
右萬事御修復之義ニ付對候ニ付
御東口ゟ往来ニ付常番ゟ可
相達之

一 御茶請菓子十四日於テ 十七日
非蔵人ゟ申候事 勘以テ相達

一 參内御修復ニ付三御所御用談大夫被
府 御修復之義自分ゟ申ス 御用ニ而
出来ニ付 是ゟ仰出 次ニ府 大和守殿
中之分何分ニ御役之儀ニ付 此度方
ニ而出来之方ニ付 大和守殿ゟ直ニ今
討官ニ而申入候 廣橋右大弁殿ニ

一 御前用御菓子之池田屋以後御厨
子所ゟ請取ニ付 中老衆ゟ達

一 提灯 三張ニ
臺 弐基ツヽ
右 朝乾門 明德十二門清和院門
門ニ而相廻ニ根等舞台ニ付使之
中奥常番ゟ達

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一尾州熱田社ゟ御使之節用中之間
右田へ差出金付而右通り相済之節物
不相廻候ニ付　金百拾両　御使ゟ被
相渡候前ゟ又々申渡　御使ゟ申候即
割請取書類ニ而候
　但當方ゟ請取書出ス　御使渡
一上面幸之[illegible]　御修中之外割
御親類行幸出道所之外之物
中候ニ右返ニ取引之分　物料之人
中立類候中候
一秋元但馬守人足三拾人請取候而
今般ニ五人減少ニ付　右心得之向後
但[illegible]立入陽國之[illegible]度[illegible]美[illegible]
右返ニ而書之由中候而可見合候
　右申候
一元吟味役之所ヲ宿直半筆生所
付ケ相手又々体所ニ而右用ニ而
明候ハ様大和守殿ゟ申渡　吟味役ニ
申候
一御茶請之儀　星野宗以　御手
萬事支配致候へ共宗以不法之事
一下向茶料ハ支配致候へ共中立ニ[illegible]
一仕丁小人　御厨子所下役小人召連候
中ニも類ニ中候
一御壷掛り之御用ニ而ハ[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一 有之節者其御門ニ而出迎之事
一 非蔵人御厨子所駕輿借之事
一 提灯蝋燭等之事 非蔵人より勤使ニ而申達
一 中門迄従大夫罷立帰之節國府一同
罷出可申人ハ頼置申候事
一 元長参方同役山本宮内家来冬
向ゟ一蔵中ニ而勤候ニ付遣置候ニ付
[illegible]上ル 右御方へ参候
諸礼ニ付[illegible]

十一

一 雅楽頭[illegible]家臣[illegible]
[illegible]ニ而[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十二

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一宇治ゟ御茶詰ニ罷出候ニ付堤切込
通行難相成趣ニ付通行出来兼候
ニ付可申出旨小堀手代ゟ申付候ニ付
御賄方石見守殿江仕丁頭并手代高橋軍治
呼寄於口向當番両人江申渡候ニ付
罷舟渡ニも相成候ハヽ可罷通可申出
旨申居候申出候ハヽ表方御届申入置候

一御道具并此面類不残含計用度司ゟ
引渡候得共御道具を用度司ゟ指図
此面類計指図ゟ御納小部屋ハ此儘
仮ニ備置候得共御膳所ゟも指揮掉
同所ニ有之候ニ付鍵を出御用度司ニ有
右府貴人ゟ相渡候下鑑札不残
返上府清所ゟ為見手本相渡
置下鑑札取寄候出入帳

一明十四日大和守殿御湯殿代参ニ付
例之通人足之儀申出候処渡

十四日

一御膳番并三五郎 戸田大和守殿出勤
中ニ而見分致候ニ付御膳番両人ゟ和
之事御届申候旨被仰候

一生野国忌ニ付出勤御断

一紙類之十勤使ニ相成て請取候分

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

會計當番傳奏衆江相渡ス
至急御用等之節差支之ニ相成候ハ、
當番役限用談所ニ出張所ニ而請取
少將鈴木ニ而渡之處承知

一明十四日朝認メ常飯止諸令人数
押切ニ相成ハ々利談所中出諸役
呼寄中渡頭ニ而申渡

一元勤仕張役下役等加勢ニ而者先帰
役之義相含甚候ニ付而居り候
大和等頭取中所頭、常吉當番ニ申渡

一吉光御稽古御作品出来ニ付而

吉調進ニ付切紙御向御使
者中ニ書頭ニ中務名前ニ而差出
新庄圖書

右宗領主人仲間半切ニ而相続
人共中立頭ニ中渡　長柄用意之
者用談所ニ相達置

十五日
一親康御合薬調献此後ハ之之
右之者以之二十日迄中[illegible]

一仲居是迄ニ而傍手ニ罷出候処此度
達而ヨリ被差止ニ相成不罷出候処今
日ゟ常飯相止押切ニ相成候ニ付嘉
雇ニ者相人丈ヶ森追飯引ニ参り
度呼次郎ヲ以相願候而も当ニ御用も有
し候ニ付何卒相願度候尤被差支も
被為在候ハヽ十月ゟ米ニ而請取申度旨
仲居共ゟ申出候旨相阿部ゟ申候段
願ニ付尤米ニ而請取候様申渡
被為聞召候ハヽ被成下候旨申出候
候様相済候処申上候
一被下形十一枚
右後院御使番同小野使川口帯刀

仕丁之者共江ハ此下茶渡旨相分り
不申候ニ付青ニ而鈴木将監殿へ夫々江
相渡渡日ハ申出候ハヽ夫ニ而被渡候事
但川口帯刀之分瀧野相心得居候事
一先達而被取りニ内晒弐包五百足弐ツ
差出候様勘ヶ由小路殿ゟ命晒廿包
被取り有之外ニ金子足三条殿ゟ被下
候分是又被取り申居候五百足弐ツ八
追白被以後相同日ゟ
不用候元入二ノ御ゟ候様相渡申上
候処三条殿ゟ五百足弐包
晒弐包相添差出候様相頼用度司ヨリ

取寄表江上ル

一五番隊徴兵日々警衛相良遠江守江
交代之旨ニ而来り候得共未相済候ニ付
未済ニ付新之候間此段相伺候旨常番
ニ而申越候ニ付雑事之内ニ而右ニ者軍
防之而申上候間軍防官之可伺出旨之
令ニ而此段常番之申渡後刻相良藩之
者達ニ有之候上段交代候旨ニ而徴兵之
者何れも引取候段常番申出

一小堀数馬出頭目録文匣壱箇借之
旨ニ付申渡候

一後藤一乗ヨリ白地銀ニ付返上表之上ニ
受右銀出方取調ニ相成申出　三月廿二日元
勤使之後藤ニ今之着手ニ付日ケ取之旨
ニ而見ニ付元勘使之出方之八相分候得共
取調相済之上後ニ申出之表之書中
入之候ニ付元勘使出方之通被成下候之

一後藤之前借之金五十両之出方表尋
ニ付四月二日林和諸間證之渡ニ付
商人之相渡済年賦差上度旨申答

一用度司根分内海後来示鑑之候和州
申立ニ上候間書付之候

十六日

一 日ニ御法楽ニ付カリ筆廿八机

出候由申渡ス[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 作事方[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

十八日[illegible]

戸渡

一火元見役人ニ陣笠預ヶ付修復
永井日向守家来吉田恒右衛門ヘ
出用度司九戸渡

一鍵番佐藤小藤次郎儀ニ所労ニ付
行退出難相成候間籠ニ而借受度儀
藍木戸出頭常番方ヘ戸渡

一當地并ニ西ミ(?)上手ニ鍛錬師有之
以ゝ手取了差出[illegible]

松

永井日向守家来
吉田恒右衛門

三日ゝ内可ト出旨ト申ゝ香取中山
藤九郎ヘ戸田ヘ口達ニ而戸届本阿弥
書付差出候ニ付戸田ヘ渡ト申表紙法
差出ゝ候ヘ共右之差出戸田ヘ渡ス

一法鋺法用掛ヘ修付之旨以後
法鋺法用方ヘ参ニ一々ト申以来
戸田和州ヘ申ゝ

一本願寺代ヘ移ニ後ゝ事返上
有之ゝ共委細政體貨幣取調
書二冊ハ返上於之ニ付写ニ返上

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

御渡

一火元見法衣之陣笠損ニ付修復
永井日向守家来吉田恒右衛門御
ゟ用度司九御達

一鍵番佐藤小郎儀所労ニ付
行退出雑事成ニ付籠籠等借之儀
荒木御出頭常番共へ御渡

一當地并ニ西之上手ニ銀鈴師有之
以ゝ年座丁差出旨本阿弥ゟ御渡ニ
中山殿江令同呼出御付以處分

三日之間可御出旨御沙汰中山
殿ゟ申〆戸田ゟ口達ニ而御届本阿弥
書付差出候ニ付戸田ゟ法印へ表之法
差出之事右之旨戸田ゟ申遣ス

一法印鍬法用掛ニ而修付ニ付以後
法印鍬法用方之儀、一々御沙汰以后
戸田和州ゟ御沙汰

一本願寺代ゟ移之後之事返上
有之ニ付共書類改體貨幣座調
書二冊ハ返上新之ハ府ゟ申遣候返上

大坂
一　月岑貞一則　因州在京　京　尾崎正隆

右者、此度法眼被仰付候ニ付、如何
可被成哉、本阿弥江相尋候所、根和州江
申渉、刻相尋候處、其表之趣之處、
薑身一應法見分、猶之以上塗砥ニ被仰
根和江被仰渡出来候上、本阿弥相兄仕候
ヽ買取哉、此後度々被仰付候儀ニ御座候て
私屋敷内空地有之候間、鍛錬之場
所被取建ニ相成候而も被仰付候ハヽ宜候
而も出来候ハヽ宜敷存候、此度
限り候ニ不及候儀ニ候得共、尤打居候内ニ
當役并本阿弥之内一人為見分罷越

候ハヽ、買取哉之旨、本阿弥江申渉候所
和州ゟ申来候、何迄も書面ニ而申談
後日ニ而差出旨申渉候所、承服申渡
書付差出候ニ付、右田之法眼差出
右之通差出取計可申旨

一　遠藤大学
右法眼子所副役桂伊織所労ニ付
為御加勢当分御渡之旨大隅守申出、和州ゟ
伺書差出之

一　法眼被仰付候、並進新法眼之儀共、當時
當番有之、有当日ニ者人ニ被仰付
度旨申出、用度司ゟ申達

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一御錠口番人数書付差出候様申出
御錠口番 仕丁二人
出仕中 御使番十人 頭役 仕丁二人
棒突人足交
右之通書付差出
一御仕切内ヘ入り候所之儀取
調候様申出候ニ付御常番呼出取調
候処今日昼前ニ御文庫ヘ上方
之者之御例之通ニ而見合候得共出掛
候処右之者ヘ申入候内之者入り候事
不相成候御馬御用之外入り候儀ニ
候内入り候ニ付右御馬等
込ニ而

成候旨常番申出候様表江申
一今日供待之多人数有之ニ付火元為
点検御使番ニ而も為見廻候様
申候後ヘ人数之義ニ相成候
見廻り候ニ和州ニ申候処御内
之儀番頭ゟ申渡候処御外へ
申候由申候
一 仁和寺宮 聖護院宮 梶井宮 華頂宮
右者近諸達之違有之候得共雑事
差支候而も申達居候ニ付三重ニ
申成候者以後不違候旨申達置候事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一 諸役交番人数書付差出候様申出
諸役交番 仕丁二人
出仕中 諸使番十人 頭長 仕丁二人
棒突人足交
右之通書付差出
一 仲仕切内ゟ之所ゟ出之候府取
調候様申出日諸向常番呼出取調
候処今日昼前ニ諸文庫相上方

賀所ノ御守備
長ゟ相
岩倉中納言

右以後交代人数之義相改候様
見廻り候和州ゟ申ニ付唐諸向内
之儀番頭ゟ右様之事ゟ渡諸向外
右之通申渡
一 仁和寺宮 聖護院宮 梶井宮 華頂宮
右是迄諸達之通是迄相共雑事
覚生ゟも相達居候処是迄二重ニ
相成候間以後不違之旨申入承

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用　挟み込み物

廿八日
一 周慶院分(?)御行事鑑(?)如是今
蛤御門頭ゟ 御轉(?)法輪(?)清水
江付差遣ニ 戸田右兵衛督中ゟ
隊長之者 呼出 右様ノ様 申渡
到 呼出 申渡
一 来月(?)今日(?) 伊勢両宮神飲(?)
御清祓之形預 戸田ゟ差出候
處 差返 本人ゟ 更ニ無度(?)ゟ差出
出候様 相伺 申事 呼出 甚(?)中
一 渡預書差返之 [illegible]

一 親王(?)家御合(?)様 御返事 目録
調献之旨中出(?) [illegible] 中路(?)
一 藤本信次郎
一 右同人ゟ 兼(?)ヨリ 常御
之事 願ゟ 表使ラ以 申出 尋候
常御 張面 取寄 書加
一 右 兵次郎 [illegible] 扶持米 支配 等
頭ゟ 差出
一 明後九日
孝明天皇 御法(?)
御代香 柳原(?)大納言殿

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用